

# 自治連 たま

■発行 多摩市自治連合会

■編集 自治連広報委員

(事務局) 多摩市役所

コミュニティ・生活課内

〒206-8666 多摩市関戸六丁目12番地1

TEL 042(338)6828 FAX 042(337)7660

平成29年3月31日

## 笑顔から得られる新たな力

梅の蕾が膨らみ紅白の花開く  
後を追いつ桜の花が咲き誇ります。

大栗川・乞田川の川面に花びらが  
浮かんで流れて行きます。

草木の芽が萌え緑を織りなす。

小高き丘より多摩丘陵の先には雪  
を抱いた富士の山が遠望できる。

縄文の太古の昔より今私たちの住  
む多摩市は自然が豊かに残るところです。



多摩市自治連合会  
会 長  
たね あき  
千 葉 胤 昌

公園や広場から聞こえてくる子供  
達の喜びの声。

川辺や森の散策道で行き交わす時  
お互いが交わす笑顔。

私達は、日常のささやかな喜びを  
人々と積み重ね得ることによってそ

こから多くの勇気と明日に向かっての活力を貰います。

さて、多摩市自治連合会が発行する機関紙「自治連たま」第1号が発行されたのは、昭和52年(1977)9月25日



です。一昨年は、自治連創立50周年を迎えましたが、広報活動においても40年の歴史を刻んでまいりました。

それぞれの地域にお住まいの方々と共に、地域活動に携わってこられたことに大きな喜びを感じます。そして、皆様のご協力ご支援に改めて感謝申し上げます。

皆様お一人お一人の笑顔を持ち寄ってこそ解決する様々な事象があります。同時に皆様の笑顔の力を持ち寄って対応すべきことも多くございます。他の市町村より先行する少子高齢化に対する自治連の取組み、災害時における要支援者への対応など…時代に対応すべき新たな自治連の活動も必要としております。

今、私達の自治活動に求められているものの一つに、対応する課題に対して一般的な抽象論や理想論を語ることも必要ですが、最も大事なことは具体的なものを構築し実践行動することです。

語り継がれた言葉ですが、“向こう三軒両隣”は地域活動の原点であり、人々が共に手を携えて交流する中から得られる“共助精神の構築”となります。その基本にあるのが、“笑顔と挨拶”です。

さあ、改めて地域自治活動の新たな飛躍のため、笑顔でアイサツよろしくをお願いします。

## 学 習 会

平成29年2月4日(土)

多摩信用金庫 Winプラザ多摩センター

参加：19団体 31名

2月4日に行われた自治連市政学習会からの報告です。  
テーマは「安心して暮らし続けられるまちを目指して」をメインに「公共施設の見直しと将来像」「多摩市の健幸



まちづくり」のサブテーマで阿部市長と安里政策監が講演しました。

始まりは、筑波大学久野研究室。大分県での全国市長会での報告「スマートウェルネスシティ」

に、阿部市長が感銘をうけてから。

単に高齢者の医療費削減のためではなく、一人一人の市民が、それぞれの置かれた状態の中で幸せに過ごせることが目標。

女性は男性より長寿だが、相対的に筋肉量が少ないので、80歳以降自立を保ち続ける人数は、保ち続ける男性の人数に及ばないという問題が指摘されました。

そのために、様々な取り組みを進めていることが数多く紹介されました。

会場から、ユーモアたっぷりに「書き取りで『健康』という問題が出された時に、健幸と書く児童が増えるのでは?と心配ですが、取り組みが発展して、どちらも正解となる日がくるのが望ましい」という意見が出され、大きな拍手が沸きあがりました。



# 第16回多摩市自治連合会体育祭「スポレク2016」

菊花の頃、11月20日(日)多摩市立総合体育館において、多摩市自治連体育祭「スポレク2016」が初参加のチームも加わり、盛況のうちに開催されました。初出場の落合自治連合会Aチームの岩川キャプテンの元気の良い選手宣誓、阿部市長、萩原議長、清水教育長のディスクゴルフの始球式で始まりました。

このスポレクは、多摩市自治連が主催し、多摩市スポーツ推進委員協議会の協力により、軽スポーツを通して親睦と連携を深めることを目的とし、今年度で16回目を迎えました。

今回の参加は、20チーム260名、スマイルキッズ45名、小学3年生以下15名、総勢320名の方々が参加されました。

どの競技でも選手の皆さんは、真剣に取り組む姿がうかがえ、応援にも熱が入りました。昼休みには、スマイルキッズの皆さんによる演技に魅了させていただき、楽しい秋の一日を満喫することができ、大会を終了しました。

熱戦の結果は、次のとおりです。

- 優勝：関戸自治会
- 準優勝：瓜生自治会
- 3位：上乞田自治会A
- 種目賞：輪投げ：上乞田自治会A  
ダーツ：落合自治連合会B  
ローンボウルズ：落合自治連合会A  
シャフルボード：中和田自治会B  
ディスクゴルフ：関戸自治会
- 特別賞：あたご第1ブロック自治会

ご参加された選手の皆さん、スタッフの皆さん、ご協力に感謝いたします。また、来年度も皆さんお誘いあわせのうえ、多くのご参加を心よりお待ちしております。(川井博之)



## 視察研修会

今年度の視察研修会は、世界遺産富岡製糸場と絹産業遺産群のひとつである高山社跡に行きました。

- 富岡製糸場では、「木骨煉瓦造」で建てられた建造群など明治初期の貴重な施設を見学しました。



富岡製糸場 東置蔵所



富岡製糸場 繰糸所

- 実施日：平成28年9月29日(木)
- 視察場所：富岡製糸場（群馬県富岡市）  
高山社跡（群馬県藤岡市）
- 参加：18団体 41名(役員含む)

- 絹産業遺産群のひとつである高山社跡では、養蚕の歴史について学びました。



記念撮影



高山社跡

# 合同部会

平成28年10月29日(土)

多摩市立関戸公民館 第1・2会議室

テーマ：「災害時における要支援者への取組み対応」

参加：26団体 45名

合同部会は、1. 北嶋馬引沢自治会長の講演、サポーターの活動報告、2. 30分のワークショップ（自治会と管理組合が5つのグループに分かれてディスカッション、3. 討議のまとめの報告という形で行われました。

## ●北嶋馬引沢自治会長の講演

～要支援者に対する取組み～

「個人情報保護法」の壁があり、民生委員には守秘義務もあり、支援を必要とする人の情報を集めることに困難がある中で活動を始めたところ、3.11を契機として変化が生まれました。モデルケースとしての苦労話など自治会内の反対論も紹介されました。多摩市から要支援27名分の個人情報の公開がされ、訪問する中で4名が登録を拒否という状況からスタートしています。その中で、サポーターの要件について多摩市防災安全課の提案があり、

①最優先は自分と家族 ②できる範囲で ③特別な資格は不要 ④見回りを中心としたサポート活動 ⑤日頃から挨拶を ⑥災害時には安否確認を ⑦必要に応じて避難援助を ⑧個人情報は守る、ということでハードルを下げ活動



への参加が広がりました。

支援を受ける側には、

①できる範囲で準備を ②行事に参加することで地域のみなさんと交流を深める ③自治会加入など地域の活動へ参加 ④日頃から挨拶とコミュニケーションをとるということで、40名を超えるサポーターとしての参加を得ました。マッチングは、①同性であること ②近所で100m以内 ③災害時サポータージャケット100着を市に依頼作成 ④訪問時の記録用紙作成配布を行い、年間5万円の市からの補助を受け担架購入をしたそうです。

サポーターの活動報告では、ハートネットTVというNHKの番組で放映されたことも報告されました。

## ●分科会とそのまとめ

30分のワークショップは5つのグループに分かれてディスカッションし、まとめをそれぞれのグループから行いました。

自治会役員が毎年変わる、高齢化による困難、民生委員との連携の難しさ、年会費集めの時の把握のしやすさ、逆に自治会費引き落としとアンケートの困難さ、入居3年での近所付き合いの希薄さ、マンションの管理会社がネットを通じてサービスを行うなどが報告されました。

合同部会は、現状を見据え、先進に学んで進むことを確認してその幕を閉じました。



# 新年情報交換会

平成29年1月28日(土) 18時～20時

京王プラザホテル多摩 たまつばき

参加：24団体 66名（顧問・来賓等を含む）

多摩市自治連合会会員の皆さまと新年最初の集いとして、今年も「新年情報交換会」を京王プラザホテル多摩で開催いたしました。

自治会・町会・管理組合の皆さまと、顧問の多摩市長をはじめ市議会議員、教育委員会教育長、来賓の多摩消防署長、多摩稲城防犯協会会長、多摩稲城交通安全協会会長、多摩市社会福祉協議会会長、多摩商工会議所会頭、多摩市老人クラブ連合会



歓談風景

会長、多摩市消防団団長、多摩市スポーツ推進委員協議会会長との情報交換と歓談の場となりました。

立食パーティー形式で、にぎやかに歓談しつつ親睦を深め合う機会となりました。中には自治会規則改正の取り組み状況を熱心に語り合う会員の姿も見られました。

ビンゴ大会も大いに盛り上がり、予定の2時間を経て、自治連副会長のお礼の言葉で終了となりました。

## 新しく自治連に加入された団体

### ◆プリンスハイツ聖蹟桜ヶ丘自治会

設立：平成28年11月20日

所在地：多摩市関戸2丁目43番地の4

役員：3名体制（理事長、事務局長、監査委員）

※平成29年1月の自治連役員会で加盟承認されました。

当自治会は昨年11月20日に設立され、プリンスハイツ聖蹟桜ヶ丘（分譲マンション）に住む有志をもって構成されています。

総戸数は12戸と極めて小規模なマンションですが、竣工から20年弱が経過している中で、当マンションならではの固有問題も生じてきました。住民同士の支え合い組織として、大規模災害への備えと高齢世帯への

対応に軸足を置いた活動を展開することにより、健全な地域社会の維持及び形成に少しでも寄与できればと考えております。

自治連合会の皆様にもご指導、ご助言いただきながら、一歩ずつ着実に前進してまいり所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。



平成29年度

多摩市自治連合会

## 定期総会開催のお知らせ

開催日時 平成29年6月3日(土) 午後1時～

開催会場 パルテノン多摩 第一会議室

総会開催の詳細については、後日お知らせしますので、ぜひご参加ください。

## まだ自治連合会へ加入されていない団体のみなさま 多摩市自治連合会に加入しませんか!!

多摩市自治連合会は、市内の自治会・町会・管理組合が集まって組織された団体です。会員相互の親睦と連携を図り、地域の環境改善につとめ、地方自治の発展に寄与することを目的としており、現在114団体が加入しています。視察研修やスポレク、学習会、部会等を行い、互いの地域情報を交換しコミュニティの発展につとめています。各団体の定期総会が多いこの時期、ぜひ自治連合会へのご加入をご検討ください。

▶お問い合わせ：多摩市自治連合会事務局（多摩市役所 コミュニティ・生活課） ☎042-338-6828

### 消防団員募集中!



防災の中心的な役割を担う消防団活動に、ぜひご参加ください。▷対象：18～54歳の市内在住・在勤・在学者(女性・学生大歓迎)▷待遇：報酬・手当、災害補償、表彰・退職報奨金・学生消防団員活動認証制度あり、制服等貸与▷問合せ：防災安全課 ☎(338)6802

### 編集後記

50周年記念事業を終え、新たな課題への取り組みが始まっている。

健康で幸せなまちをつくる、災害に強いまちをつくる、人と人がつながり、支え合うまちをつくる。

少子高齢化が進む中で、健康に無関心な人が半数を占めるという実情を踏まえて、これらの課題に取り組む。

道は決して平坦ではないが、例えば税収が頭打ちでも、将来人口が減少しようとも、知恵は無限。「住みよいまちにしたい」という気持ちが一つになれば何でもできる。

敗戦直後のドイツで、人々を襲った発疹チフスに命を投げうって立ち向かい、今もドイツの人々に感謝され、記憶を残す日本人医師の話を知った。当時4歳だった人の孫に「肥沼さんは私のヒーロー」と言わせる働きには遠く及ばないが、小さなことでもコツコツと積み重ねていきたい。

(広報委員 菊川)